
似た者夫婦

スイッチ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

似た者夫婦

【Nコード】

N4831G

【作者名】

スイッチ

【あらすじ】

夫婦は悩んでいた。一人息子の顔が自分達に全く似ていないことについて。

私には悩みがある。

「ママー」

さんと陽が降り注ぐ砂場で小さな山をこしらえ、青葉が生い茂る榿が作る木陰の中、ベンチに座る私に笑顔で手を振る息子は今年で三歳になる。

砂だらけの顔は額から垂れた汗と泥で汚れていて、毎日洗濯している服も黒くなっていた。

手をそつと振ると彼はますます笑みを深め手を振り返す。

彼が濡れた背中を見せて砂山作りを再開するのを見届け、私は小さく溜め息をついた。

今、公園にいるのは息子と私だけだ。

お盆の時期になると、近所の奥さん方は皆家族総出で一斉に帰省してしまい、夏休み中子供達の声で賑わっていた公園は蝉の鳴き声と静寂で満たされていた。

あぶら蝉か熊蝉か判断しかねるが、蝉の声は一時も休まない。なのに、何故だかとても静かに感じる。

音を音と認識していかないのだ。

慣れというのは恐ろしい。

「ちゃんと帽子を被りなさい」

直射日光を避けるために被せたキャップ帽が放り出されているのを見つげ注意すると、息子は素直に帽子を拾って砂を払ってから頭に乗せた。

葉が擦れ合い、僅かな生温い風が頬を撫でていく。私はポケットからハンカチを取り出し、化粧が落ちないように慎重に汗を拭い取る。

言うことはちゃんと聞いてくれるし、時折思いがけない行動に困らされるけど、親の鼻屑目を除いてもあの子はいい子だと思う。

けれど私の悩みの種は主に彼のことだった。

決して彼に非があるわけではないのだが、問題は彼の顔にあった。息子の顔は私にも夫にも全く似ていないのだ。

愛嬌のある愛らしい顔立ちと言えば可愛いが、彼の顔は整っていないとはとても言えなかった。可愛いらしいというのも、もしかすると動物的な意味合いなのかも知れない。

これは夫に黙っていたことが原因なのだが、バレた時の反応を考えると恐くて言い出せなかった。

日に日に成長し、顔がはつきりしてくると彼が私たちのどちらの特徴も持っていないことに気付かされる。

周囲もそれに気付き始めていて、最近は外へ出るのが億劫だったのだが、周りが帰省している今なら安心だ。実際こうして息子を外に連れ出すのは久しぶりだった。

唯一の救いと言えば夫がこのことについて触れてこないことくらい。

しかしいつかは夫は疑問を口にする時がくる。そうなったら、私は夫に真実を告げなければならぬ。

私は深く溜め息を吐いた。

僕には悩みがある。

仕事が忙しいってのも悩みの一つだけど、それ以上に重要でどうしようもない苦悩を抱えている。

問題は今年三歳になる一人息子にあった。明るくまっすぐな性格に育ってくれ、大きな怪我也病気もない、そんな彼にあった。

彼は僕とも妻とも違う顔立ちをしている。

あまり考えたくはないのだが、僕に似ていないだけなら納得出来

るが、実際に妊娠して子供を産んだ妻にすら似ていないのはどうい
うことだろうか。

可能性は低いが、まさか病院で子供の取り違えなんてことが起こ
ったんじゃないのか。

そういうことも含めて調べるために、べらぼうに金がかかったが
僕は身辺調査を探偵に依頼した。

それ以来いつ探偵から携帯に連絡が入ってくるか、仕事の合間や
自宅で寝そべっている時、トイレで用を足している間でもドキドキ
しながら結果を待つ日々を過ごしている。

男は迷っていた。

「真正正銘の親子だな」

依頼を受けたときは単純に妻の浮気だと思っていたのに、子供は
夫婦のどちらとも血が繋がっていた。

ただ夫婦が美男美女のカップルなのに対し、子供は言っちゃ悪い
が雑種犬のような愛嬌はあるが不細工な顔をしている。

よく美人同士が結婚すると血が相殺し合って子供は醜くなるとは
いうが、それでも全く似ていないなんてことはない。少しバランス
が崩れるだけだ。

これはどうということなのかと更に調査を進めると、真相は掴めた
ものの報告していいものなのかと悩まされる羽目になった。

「浮気とどちらがマシか、決めるのは本人なんだがな」

男は二枚の写真を指で弾いた。

古い写真がテーブルを滑る。そこには、男が調べた夫婦と全く違
う顔をした男女が写っていた。

夫婦の子供とよく似た、整形前の夫婦の姿がそこにあった。

(後書き)

なんとなく尻切れとんぼな感じになりましたが、オチは読めたでしょうか？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4831g/>

似た者夫婦

2010年12月18日22時13分発行